

会 議 議 事 録

1 会議名	令和8年度長岡市教育委員会事務評価委員会
2 開催日時	令和8年7月15日（水）午後2時から午後4時まで
3 開催場所	さいわいプラザ 4階 教育委員会会議室
4 出席者名	（委員） 山田委員長 大久保副委員長 武石委員 （説明のために出席した職員） 金澤教育長 江田教育部長 星野子ども未来部長 佐藤教育総務課長 野崎教育施設課長 大竹学務課長 中村学校教育課長 小嶋学校教育課主幹兼管理指導主事 本間学校教育課主幹兼管理指導主事 佐々木学校教育課主幹兼管理指導主事 入澤中央図書館長 目黒科学博物館長 松木子ども政策課長 込山こども家庭センター所長 殖栗保育課長 （事務局） 八田教育総務課長補佐 平澤教育総務課庶務係長 池田教育総務課主査
5 欠席者名	
6 議題	(1) 令和7年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価報告書について ア 教育委員会会議の開催及び審議状況等について イ 教育委員会における事務の点検・評価について (2) その他
7 審議結果の概要	資料に基づき、令和7年度に教育委員会が実施した各種事業等について、担当課長が委員に説明し、委員からの質問に回答した。

8 審議の内容	
事務局	1 開会
教育長	2 教育長あいさつ
事務局	3 事務局職員紹介
	4 議事
	(1) 令和7年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価について
	ア 教育委員会会議の開催及び審議状況等について
	・資料に基づき事務局が説明
	・質疑応答
委員	(意見) 定期的に施設訪問を実施しているが、県内では、定期的に実施している市町村はほとんどない。これは良いことだと思うので、今後も継続して実施してほしい。
委員	(意見) 施設訪問や報告事項において、時宜を得た内容で実施されていることが評価できる。また、議事録について、ホームページにおいて市民に具体的に公開し、透明性を確保している点が良い。
	イ 教育委員会における事務の点検・評価について
	■ 4つの重点項目の取組状況及び今後の展望
	【不登校支援の充実】
	・資料に基づき事務局が説明
	・質疑応答
委員	(質問) 長岡市内において、不登校支援に係る施設が増えていることは良いと感じる。「いこ〜れ」の利用人数の当初の見込みと実績について、どのように考えているか。
事務局	(回答) 27 中学校区のうち、宮内中学校区、小国中学校区、寺泊中学校区、栃尾地区の4中学校区に設置した理由は、不登校児童生徒数の実態や想定人数を総合的に鑑みたものである。利用者数は一桁であるところが多いが、支援を必要とする児童生徒が利用している。今後の利用者の推移を見ながら、工夫・改善を実施していきたい。

委員	(意見) 支援を必要とする児童生徒の利用が増えることで、認知度も高まっていくと考えられるので、引き続き改善を進めていってほしい。
委員	(質問) 中学生が小学校に足を運ぶことに躊躇があるとの意見を保護者から聞いたため質問させてもらうが、「いこ〜れ」の設置を小学校にした理由は何か。
事務局	(回答) 市内すべての学校で、校内教育支援センターの機能を持つ部屋が常設、または必要な場合に開設されている。小学校のほうで常設して支援する体制を整えることに課題があるため、小学校に専門支援員が常駐する「いこ〜れ」を設置した。
委員	(質問) 「フレンドリールーム」や「ほっとルーム」の成果や知見により、「いこ〜れ」が設置され、教室に行くことができない児童生徒が学校との関係を切らさないでいられることは良い。なお、自立支援コーディネーターとスクール・ソーシャル・ワーカーの令和7年度の対応件数が55件と、昨年度の2倍以上となっているが対応は可能だったのか。
事務局	(回答) 令和6年度は1名で対応していたが、令和7年度は2名に増員したことで多くのケースに対応が可能となった。
委員長	(質問) 不登校の児童生徒にとって、「いこ〜れ」、「フレンドリールーム」や「ほっとルーム」の様々な選択肢があることは良いことである。一方で、どこにも行けない児童生徒もいると思われる。そのような児童生徒が中学校を卒業するにあたり、引きこもりへの流れの対策が必要になってくる。そうならないよう、切れ目のない支援や相談体制が必要になってくると思うが、具体的な対策はあるか。
事務局	(回答) 課題は認識している。子ども・青少年相談センターは20歳未満まで利用することが可能なため、義務教育を終えても支援が必要な場合は、引き続き相談支援が可能である。今後、福祉保健部のひきこもり相談支援室と情報共有が可能か検討していきたい。
	【学校と地域の協働による地域クラブ活動の体制整備】 ・資料に基づき事務局が説明 ・質疑応答
委員長	(質問) 県内でトップランナーとして取組を推進している点について評価したい。一方で、現中学2、3年生は、1、2年生のときに中学校で部活動をし

事務局	ていたこともあり、そのまま地域クラブに参加している傾向があるが、それを経験していない中学１年生の参加者は少なく、今後長岡市で１チームとなる可能性がある。その背景の一つとして、教職員に部活動は分離したとの意識があるからか、学校からの生徒への動機づけが希薄なこともあると考えているがどうか。 (回答) 学校によっては、壮行会や成績報告会などが開催されず、大会など活動の情報が得にくい状況が課題であると考えている。小学校６年生向けに地域クラブの説明会や広報を実施しているほか、指導者が学校に訪問し活動の様子の説明等を実施しているが、学校との連携について、一層、進めていく必要があると考えている。
委員	(意見) 参加人数が少なくなることで、練習場所が遠方になり親の負担が大きくなる。「地理的な理由に左右されず」とあるが、続けたいが続けることに躊躇する生徒が出てくる可能性があるため、その対策を講じる必要がある。
委員	(意見) 指導者として、子どもが頑張る姿を見ることができる。逆に学校の先生の大変さも感じることもできる。大人の関わりを増やしていくことで、多くの協力を得ることができると考えるため、大人が関わる機会を増やしていくことが大切である。
委員長	【授業イノベーションの推進】 ・資料に基づき事務局が説明 ・質疑応答 (意見) 授業イノベーションにおいて、その理念を理解し現場の教員が自信をもって授業ができるよう、引き続き教育センターから研修指導をお願いしたい。
委員	(意見) タブレットの活用が始まり６年経つが、集中力が続かなかったり、書くことが苦手な子どもが増えているように感じる。また、AIが普及している中で、すぐにAIに答えを聞こうとしている現状を危惧している。今後、AIの使い方について学んでいく必要があると感じている。
委員	(意見) 授業イノベーションが目的とならないようにしていくことが大切である。また、AIなどの機械に頼る部分と自分の頭を使う部分の区別をつけるこ

	とが大切だと考える。
委員長	【発達支援の「長岡モデル」の充実】 ・資料に基づき事務局が説明 ・質疑応答 (意見) 保育園・幼稚園から小学校への就学指導や様々な配慮等の引継ぎは丁寧に行われているが、小学校から中学校への引継ぎ、また、特別支援学校への引継ぎは丁寧さが足りないように感じる。切れ目のない形でつながっていくことが大切である。
委員	(質問) 配慮が必要な子ども向けにトライアル導入したリタリコについて良い評価を聞いているが、実際、教員からはそのような意見はあるか。
事務局	(回答) 教育ソフトをトライアル導入した目的が、支援を要する児童生徒の個別の支援計画の作成支援、教材の提示、職員研修の実施にある。児童生徒の実態を多面的な視点からアセスメントでき、正確な実態把握ができたとの評価がある。そのほか、個別の計画例が自動的に作成されるため、「教員は具体的かつ適切な指導支援方法を知るきっかけとなった」、「保護者と教員が話し合う機会が増え、連携する場が確実に増えた」などの評価もある。
委員	(質問) このような取組が学年間だけではなく、小学校から中学校への連携などにも活用できればよいと思うが、そのような連携は可能か。
事務局	(回答) 通常の学級に在籍する配慮を要する児童生徒に対しても、どのような効果的な支援できるか検証している。今後、全小中学校に導入する予定であるため、小学校と中学校の情報共有ができるように支援をしていきたい。
	■教育委員会の実施した事業の点検・評価について 【施策1 郷土愛の醸成による人材の育成】 ・資料に基づき事務局が説明 ・質疑応答
委員	(質問) 21 ページでは「ながおか学」をデジタル版にするとのことだが、26 ページでは「紙面内容の充実」と記載されているが合っているか。
事務局	(回答) 「紙面」は紙ではなく、PDF のページを意味している。

委員長	(質問)「こめぷら」に掲載されている「ながおか学」について、1つのPDFになっているため検索したい場合に煩雑になる。いくつかの章に区切って掲載したほうが、子どもたちは調べ学習に活用しやすいのではないかな。
事務局	(回答) 今後、より使いやすいように検討していく。
委員長	(意見) それぞれの学校が育てたい子どもの姿を話し合っているが、さまざまな計画や事業によって異なる表現となっており、伝わりにくくなっている。一本筋が通った表現となるよう学校への支援をお願いしたい。
委員	【施策2 保幼小中連携による一貫した教育の推進】 ・資料に基づき事務局が説明 ・質疑応答 (意見) キャリア教育の充実について、「こめぷら」には企業等の情報が充実しているため、高校卒業後も活用できることを謳ってほしい。
委員長	【施策3 オール長岡で子どもを育む教育の推進】 ・資料に基づき事務局が説明 ・質疑応答 (意見) 学校としてはマンパワーの充実を望んでいると思われるので、より充実していくよう推進していただきたい。
委員長 事務局	【施策4 子ども・子育て支援の充実】 ・資料に基づき事務局が説明 ・質疑応答 (質問) 児童クラブの民間委託に伴い、現場で困った点や戸惑いなどはあったか。 (回答) 約9割の職員が継続して児童クラブに従事していることから環境の変化は少なく、支援体制について問題はなかった。従前は各地区で運営していたこともあり、当初は細かい部分でトラブルがあったが、市が調整に入ることで解決を図った。

委員長	【施策5 質の高い教育を実現する教育環境の充実】 ・資料に基づき事務局が説明 ・質疑応答 (意見) 学校の統廃合については少子化でやむを得ないところではあるが、丁寧に対応している。
委員長	【6 長岡市教育振興基本計画に記載のない施策】 ・資料に基づき事務局が説明 ・質疑応答 (意見) 栃尾美術館は小さい美術館であるが、工夫した企画展を実施しており、すばらしいと感じる。今後も継続して行ってほしい。
委員長	■長岡市教育振興基本計画に掲載した参考指標一覧について ・資料に基づき事務局が説明 ・質疑応答 (意見) 指標を定めることは重要と考えるが、教育の分野においては成果が表れるのには時間がかかる。数値に一喜一憂することなく事業をすすめてほしい。
委員長	その他、全体を通しての意見等はあるか。 (なし)
委員長	(2) その他 ・事務評価委員の意見提出について 集約した意見の調整については、私と事務局とで調整するということがよいか。 (異議なし)
	5 閉会
(出席委員の署名欄)	
9 会議資料	